

お待ちして居ります。巻續小母さんはじめ、會の皆様へも、よろしく申上げて下さい。
五月二十四日 一 郎

拜復 十一日附御便り誠にありがたう御座いました。會社の方々何れも御當選、眞に御目出たう御座いました。
六月二十四日 一 郎

本紙發行は大内一家の事業にして、其の社務は子孫に對する遺言を發するものなり。
六月二十四日 一 郎

附けやうかき、よりよく協議中です。帶廣で御買ひ下さった張板は昨日到着いたしました。ほんたうによく出来て居ります。
六月二十七日 一 郎

内郷村報の 六大使命

- 一、政黨政黨を超越して、純實主義を標榜す。
- 二、村内公私各機關の活動状況を報導し併せて其協調を計り、總現和進努力の實現を期す。
- 三、本村社會事業の徹底を期す。
- 四、村内の善事興行を奨励し、且之を獎勵す。
- 五、本村と本村出身者及本村關係者との聯絡を計り、且其發展向上を期す。
- 六、費餘力を以て國民進歩に當る。

内郷村報

天法人 順人 則
ルニ從 べシ 順ナ

時局に鑑みて
民 惠

はるばると！
ようこそ！！

大内民惠

これは去る八月二日より五日間東京に開催せられた世界教育會議への提案であつて、評議員矢野恒太氏を通じて其手續を完了したのであります。特に、この掲載して、讀者各位の御批教を仰ぐ次第であります。而して其巻頭には、明治天皇の賜はりたる五箇條の御誓文と教育勅語とを掲載いたしてあるのであります。

以上申し上げた所によつて、大體日本といふ國は、どういふ國であり、又どういふ理想を持つて居るかを、御想像下さる事が出来たと存じます。されど其詳細や眞相に到つては、私の如き淺學菲才の者が、到底短時間内に云ひ盡す事は出来ませんので、皆様が此度の御來朝を、因縁好機として、それぞれ譯書を通じて、我日本の歴史と、現在とを、御

調査御研究下されて、我日本の理想念願達成の爲に、相變らず御指導御聲援を、いたさうとしたいと、お願いする次第であります。次に徹底的に、日本精神と我日本帝國の理想とを、認識し了解して下さるのには、恰も我日本が、皆様の國語によつて、皆様の國の文化をいたしたと同様に、どうして日本語によつて、日本の現在を知り、又等しく日本語によつて、日本の過去即ち日本の歴史を、知つて思はれませんか。皆様の國のうちでも、そうした點にお氣附きになつて、既に日本語の講座を設けられた學校が、二十幾つかあると聞いて居りますが、私は非常に

喜びもし、感謝もいたして居るのであります。今や世界の國際間に於ける、重要な各種問題は、我東洋に集注してあるかの様に思はれますが、之を圓滿に解決し、全世界の平和と幸福とを招來するのには、どうして我日本の建國の精神と其理想とを、日本語を通じて、其一切を知つていた、と云ふ事が、何よりの捷徑であるかと、堅く信ぜらるゝのであります。尙それに就て、一言附け加へて置きますが、日本語の其文字は所謂漢字と申す象形文字であつて、又數も多く、之を學ぶことは、容易でないといふ事、我國内に於てさへローマ字にせよとか、エスペラントにせよとか、或は假名(日本語のアルハベツト)にして五十文字にせよとか、象形文字なるが故に、其一字一字について研究する事に於て、我日本や東洋の種々相は勿論、人世のあらゆる問題について、教へられる處が多大であつて、眞に日本なり、東洋なりを、眞に理解する事は出来なないものであると思はるのであります。

問題であります。前にも一寸申し上げましたが我同胞中皆様の國にあがつて、お世話になつて居るものは、千九百三十四年に於て、總數百六十一萬四千二人に達し、内七十二萬七千人は朝鮮人であり、一萬四千人は台灣人で、内地人は八十七萬三千人であり、之を内地人丈について申せば、十五萬八千人と稱する太平洋の眞只中の布哇を中心として、大圓を描いて、其沿岸を一瞥するに、カナタの二萬人、米本國の十五萬人、ペールの二萬人、濠洲の三萬人、フィリッピン及ガム島の二萬人、中華民國の五萬六千人、關東洲の一人を算し、大西洋方面ではブラジルの十七萬四千人、歐洲の三萬人といふ數字を示し、其自餘は、世界各地に散在して居るのであります。

大要以上の通りであつて、其第二世第三世の數は、精確にはわかりませんが、之亦相當の數に上つて居る事と存じます。次に其等第二世第三世の教育はどうかと申しますに、例へば米國の如く、第二世以下に國籍を附與せられて居るものは其國の市民として、其國の義務教育は勿論、それ以上の教育も、思ふがまゝに授けられて居りますが、然ら

ざる國に於ては、在留同胞によつて、純日本教育が施されてあるといふ状態にあるのであります。而して前者に於ては、其親達が、母國恩慕の精神と、種々の必要とから、等しく其子孫たる、第二世第三世の爲に、特に日本語學校を建て、一日一時間位づつ日本語を教へるといふ事になつて居るのであります。

恐れ多き大御心をかこみつつ、こゝしの夏は家に暮さむ

民 惠

本紙發行は大内一家の事業にして、其の社務は子孫に對する遺言を發するものなり。

附けやうかき、よりよく協議中です。帶廣で御買ひ下さった張板は昨日到着いたしました。ほんたうによく出来て居ります。

本紙發行は大内一家の事業にして、其の社務は子孫に對する遺言を發するものなり。

附けやうかき、よりよく協議中です。帶廣で御買ひ下さった張板は昨日到着いたしました。ほんたうによく出来て居ります。

本紙發行は大内一家の事業にして、其の社務は子孫に對する遺言を發するものなり。

附けやうかき、よりよく協議中です。帶廣で御買ひ下さった張板は昨日到着いたしました。ほんたうによく出来て居ります。

附けやうかき、よりよく協議中です。帶廣で御買ひ下さった張板は昨日到着いたしました。ほんたうによく出来て居ります。

はなにかと思はる、のでありませぬ。其結果として、其教育をうけた、第二世若しくは第三世なるものが、他に種々の事情があるにもせよ、一種變つた型の存在として認められ、待遇せられ又そこに彼等をして、一抹の悲愁を感じさせざるを得ない様に、思はる、のであります。故に第二世以下の教育に就いては、人道上の一大問題として、大に考慮を要すべきものであると、痛切に考へさせらるゝのであります。

然らば其教育は如何にすべきか、私の理想なり、希望なりを、簡単に申上ぐれば、A、米國の小學校の、二三學年頃から、正科若しくは隨意科として、日本語の課程を置き、我第二世第三世は勿論、成るべく其學友全體にも、日本語を科して、いたゞきたいと思ふのであります。

B、而して其の日本語の教師は、日米協力して、或は日本に於て、或は米國に於て、日米人の何れを問はず立派なる人物を選定し、日米兩國の精神を了解し、日米兩國の精神を養成するの得する人格者を養成するの得であります。かくする事によつて、第二世第三世の將來も、將た日米國交の前途にも、一大光明を仰ぎ得る事に、なるのではないかと

思はるゝのであります。同時に我同胞によつて設立され、經營されてある所謂日本語學校は、漸次之を閉鎖し、宗教家は専心其布教に向つて、副業的教師は一意其職業に向つて、精進する様にいたしたいと思ふのであります。而して日本語學校の經營に要する程度、同胞から徴集して、前述の日本語科を新設する經費に充當すると思はるゝ、十分に間に合ふ事と思はるゝのであります。

以上は獨り布哇のみならず之れと同事情にある、全世界に適用する事が、出来るのではないかと思はるゝのであります。以上の、私の申上げたことを思ふ事は、之れで其大要を終つたのであります。最後にも一言申上げて、之を終りたいと思ひます。

私は、現在世界に於て行はれて居る、學校の制度が、眞に教育の精神に叶つて居るか、どうかと云ふ點について、一つの大きな疑問を有し、其意見の概要を「教育制度改革概論」と稱する小著を以て其一端を發表し我國の有識者の一部からは認められてゐるので、尙其詳論を執筆しつゝあるものであります。もし幸ひにして私の壽命と、努力とが、其

完成を許すならば、必ず皆様の机上に之を呈して、皆様の御批教を仰ぎ、人類教育の爲に、聊か貢献したしむべきこと、念願いたして居るのであります。さらば皆様、尊き御使命を

磐炭從業員皇軍慰問金

日支事變突發するや、磐炭炭礦全山の從業員は、烈々たる憂國の至情に燃え、皇軍の勇奮に感激し、其勞苦を慰問せんと、勞務課を始めて、世話役諸氏の斡旋の下に、急遽其資金の募集に取り掛るや、之に應ずる者實に二千八百八十一人、其金額四百二十三圓に達し、直ちに之を其筋に獻金した。

後五時歸山、等しく記念館前に於て解散した。參會者は、各坑係員及來賓を加へ二百十二名であつた。

磐炭青年會

磐炭青年會では、恒例により七月二十五日、夏期心身鍛練の目的を以て、會長以下百三十名の會員は、午前七時出發、泉村大劔海岸に到り、金成本部書記指導の兵式基本体操、各支部對抗の相撲等によつて、統制訓練を實施すると共に、十二

會員二百名募集

一家を更生せんとする
戸主 長男は來れ
一身を立てんとする
二男 三男は來れ
詳細は申込み次第
「七年會案内」を送る
磐城炭礦從業員寄宿舍
大正十二年創立
福島縣石城郡内郷村字宮澤

分の清遊を盡して、午後四時半一同無事歸山した。

殉職者追悼會

磐城炭礦に於ては、例年の通り來る十八日(舊盆十三日)瑞芳寺に於て、其遺族を招待、幹部役員之に參列して、殉職者の爲に、鄭重なる精靈追悼會を舉行する由である。

石橋弘毅氏

磐炭に在職すること十有七年、採炭に勞務に貢獻する處多大であつた、長倉坑勞務主任の同氏は子女教育の都合上、此種職を辭して一先東京に居住を構へ、追つて單身渡鮮、さる炭礦に職を奉ずる事となる由。

本紙贊助金寄贈芳名
金貳圓 高野 高萩 正一
金壹圓 白水 大越 某

矢野 恒太 大内 民惠 著

教育制度改革概論

(四六版二一頁 定價五十錢 郵稅六錢)

磐城炭礦の

應召者優遇

行き詰れる現代の教育制度を解體して、學理と實際と、歴史と實驗とから新に大内案九主義を提唱す。天下知名の士の賛同枚舉に達せらる。未だ一人の抗議者も現はれず。

我國教育學界の權威
前京大總長小西重直博士
書を寄せて曰く、多年ノ御體験ト實地ノ御試驗ニ基ク其學案國ノ大精神ヲ拜味仕リ不願感激ニ打レ申候云々。

發行所 日本評論社
東京京橋三丁目
取次所 内郷村報社

福島縣石城郡内郷村字宮澤

部政吉、小坂場新一、渡邊幸助、三津岡太四六、鈴木宗松、本多敏道、小野今朝次郎、宮永勉、村上明、松崎一、氏家正男、白川茂、澤田章、黒崎丑雄、二瓶正二、若

明七十年一を讀むに及んで、更に湯仰崇拜の念加はり、ごうかして其勞咳に接する機会もがなご、衷心から念願して居つたのであるが思ひもがけず、昨日七月十一日に

我國の佛敎の、樂師如來の信仰から、阿彌陀佛信仰への變遷、皇族貴族の方々が、寺院塔堂特に阿彌陀堂を建立して、極樂淨土をな

全村奮ひ立つて 銃後の活躍

本村に於ては、事局に鑑み出動軍人家族扶助金募集の議起り、七月二十八日午前九時より役場内に、各區長各學校長、在郷軍人分會長男女青年團長等參集し協議會を開催、左記趣意書に基き、之が募集に着手したが、村民一同の熱烈なる賛同あり、極めて好成績を挙げつゝある。此舉に對し、馬目太平治日野定利の兩氏は、率先して各金壹百圓宛の寄附申出あり、關係者一同は大に之を多とし、勇躍之が運動にこりかゝつた。

△扶助金募集趣意書
我が國は東亞永遠の平和の爲め、過去久しきに亘る支那國民の好まじからざる態度を寛恕し、あらゆる犠牲を拂ひ極度の忍従に堪へ、反省を求めんと欲し、今次事變に對しましても、事件不擴大の方針を執りつゝあつたのであります。支那の挑戰的行動により事態は急轉して皇軍の派遣を見るに至りました。

吾人は今次派兵の大義名分を村民に徹底せしめ、眞に

舉國一致の實を擧ぐるに努むると共に、派遣兵家族の救助に一層の注意を拂はなければなりません。

御承知の通り當村は礦業の關係上、一人の稼きにより家が支持して居る在郷軍人が尠くないのであります。將來時局の進展に伴ひ、多數の應召者を見る場合を顧慮します時、今より之れが對策を講じて置きませんならば、我等の代表として一死國難に赴くべき勇士をして、後顧の不安あらしむるが如きは、甚だ遺憾であります。勿論軍事扶助法があります。其の手續には相當の時日を要しますから此間直ちに扶助を加へ得る如くし、出動軍人をして勇躍其任に赴く様にするには、銃後にあるお互の急務であるを信じます。茲に大方諸彦の御賛同を仰ぎ、銃後扶助金を募集せんとするものであります。尙ほ募集の状況及費途等は其の都度村報を以て一般に御報告を致します。

内郷村長 沼田濱之助

國防献金と 慰問袋

北支事變に對する村民の銃後の熱誠に依り、左記の如き寄附あり。兵事係を通じ聯隊司令部へ送附した。

△國防献金
一〇〇圓 内郷村二業保險組合代表者大串米藏
一五圓 町之内組合
一〇〇圓 鈴木平藏外二九名
村内各學校職員生徒一同

◎急 告
國稅營業收益稅第一期、縣稅營業收益稅所得稅の附加稅前期、村稅營業收益稅附加稅前期は、本月二十五日納期限でありますから、遅れずに納稅して下さい。

一一〇圓 杉山炭礦々業所從業員湯川代助外百五名
一九圓 綴一七納稅組合
二四圓 佐藤久太郎外二一人
二四圓 町之内納稅組合
二四圓 小山貞吉外二九名
二四圓 政義 千枝子
七圓 三坑下納稅組合
助川留吉外十二名
三圓 御廐 志賀ハツコ
一圓三〇錢 第三小學校
五年イ組本田信義外六〇名
百圓 内町 馬目太平治

十圓 堀坂納稅組合
鈴木平造外二十九名
五圓 宮峯根池上親交會
貝原幸三郎外一三名
百四〇圓九〇錢
内郷在住磐城高等女學校同窓生代表戸村茂
三〇圓 川平納稅組合
馬目子之松外十三名
百圓 宮 惠原猪三郎
(役場發給後援興行利息)
△慰問袋
澁澤鶴松外五六名、六二個
高木徳夫外一一八名、一一九個
内郷消防組第二部二班
一五〇圓
鈴木要、山口友子、小坂橋ツミ、皆川雪子、佐藤一夫

匿名の篤志家

六月未頃爪生巡查部長派出所へ、貧困者に上げて呉れる様に、金圓の寄附があつたが、又今回の北支事變に際し、出征軍人の扶助の内へ同一人が金員の寄附があつたので、早速當役場へ持參し、村長と相談の結果、寄附者の精神に添ふ様に之を處置した。貧者の一燈として關係者一同衷心より之を感謝して居る。

納稅表彰式

七月二十四日午前九時より

方面委員會

八月四日午前十時より村會議事堂に開催左記の件を協議決定せり。

- 一、常務委員選任の件
満場一致田口淳三氏を選任す。
- 二、母子保護法該當者調査の件。
- 三、十二年後期分恩賜財團濟生會要救療者名簿提出方の件
- 四、取扱上の注意
尙恩賜財團濟生會治療券は名簿登載者に限り、無料にて醫師や産婆の診療投薬を貰はれますから、該當者にて御困りの方は、方面委員各巡查派出所駐在所並に村役場へ申出て下さい。

本村 居住 磐女卒業生の特志

八月七八兩夜、内郷座に於て、在內郷磐城高等女學校卒業生主催、内郷村愛國婦人分會後援の下に、國防獻金、「映畫の夕」を開催し左記の如き好成績を納め、經費を控除し、村兵事係を経て獻金した。

△收入の部
金二九圓三〇錢

△支出の部

金七〇圓 興行費
金五〇圓 電燈費
金四〇圓 動力費
金九圓四〇錢 雜費
差引殘金一四〇圓九〇錢
但し右收入の内へ、島田トミ、杉山朝光、馬目ミキ、仲繪スズの諸氏より、多額の寄附金があつた。

水稻増収品評會

納稅表形式と同時に開催。出品點數三十七點、内一等四倉昌勝外二名。二等齋藤廣外五名。三等野木美也外十二點。四等大越治七外十四點。
一等賞受賞者の成績を擧ぐれば左の如し。
四倉昌勝。品種愛國二十號一坪株數五六株、一坪容量一九七勺、一升重量二六〇

夕、一坪重量五一〇匁。山崎系二。品種撰一、一坪株數六四株、一坪容量二一〇勺一升重量二六〇匁一坪重量五六〇匁。
野田辰治郎。品種、茨城坊主、一坪株數、六〇株一坪容量二〇三勺一升重量二七〇匁一坪重量五四五匁。

方面事業取扱數

七月分左の如し
生活扶助法令に依るもの、二八。兒童保護ならざるもの、二六。相談指導、一二。戸籍整理二。職業其の他紹介一九。教化五。其の他一合計九三。
カード登録世帯及人口第一種、世帯四、人口一二。第二種世帯一四、人口四一。カード除去世帯及人口生活安定世帯一、人口三。救護停止世帯一、人口三。死亡世帯一、人口一。

方面委員任命

八月一日附縣知事より、左記の通り任命があつた。
宮下 秀 貫
宮下 秀 貫
綴一ノ坪秋山町ノ内榎下
大木下擔當金 澤 慶 一

土地貸賃價格 調査員選舉

七月二十日午前十時より役場議事堂に執行したる結果大多數を以て沼田濱之助氏當選

國防獻金 (其二)

金五圓 陸軍軍用被服縫製作業従事者齋ミイ外四名

農家曆

○八月 流汗の月
(下旬)白菜大根ノ害虫驅除。麥播種用堆肥ノ製造。蠶室器具ノ消毒。蠶桑堆肥ノ製造。家兎ノ繁殖。採種田ノ管理。稻田ノ落水。冬作綠肥種子共同購入。ホーレン草ノ播種
○九月 管理の月
(上旬)稻田ノ種抜き白穂抜き。水田ニ毛作菜種播(反四勺)葱ノ追肥中耕除草。梨ノ收穫始。果樹害虫ノ驅除。草毒ノ定植。薑草(中旬)菜種ノ開引。蔬菜類ノ害虫驅除。堆肥類積込及積替へ。水田ノ落水。里芋收穫始。冬作綠肥ノ播種。甘藷ノ播種。蔬菜温床用土作製準備。菜種ノ追肥(硫酸ナ液肥トシテ)
金八十九圓二九錢

高坂直光院遍照講

第一支部
支部長 松村 智清
幹事 遠藤 米吉
菅野 國藏
柴田 久好
外講員十六名

簡閱點呼成績

八月七日日本籍者二〇五名の簡閱點呼並に未入營兵の特別教練查閱を執行せられ、學術科共に優秀なる成績を納めた。
尙證狀を受領したる氏名は翌月號に掲載す。

印紙稅檢査

本年度定期集合檢査を左の通り執行。

東北六縣 聯合教育會概況

私共は八月七日より三日間、北海道小樽市に開會の、教育大會に出席。十三日歸村致しました。左は其大會狀況の概要であります。教育大會の狀況
會場、小樽市花園小學校講堂。參會者約千五百名。
順序、國歌合唱。勸語奉讀。石黒大會長の挨拶。文部大臣の訓示。板谷小樽市長外二名ノ祝辭。前年主權地山形縣の會務報告。日程の議事に入るに先立ち、左の緊急動議成立。
天機奉伺。皇軍慰問の電報發送の件。電文七名の委員附託(電文省略)
更に緊急動議あり直ちに成立
本大會の宣言決議の件(案文委員附託)
宣言
一、華國の本義に徹し、現下帝國の使命を確認し、愈々精勵格勤以て教育報國の實を擧げんことを期す。
一、東北、北海道の特異性に鑑み一層教育振興徹底を期す。

内郷尋高校長 佐 藤 一
同第三小學校長 鈴木 重 顯

一、檢査場所 内郷村役場
二、日 時 八月十九日自午前九時至午後三時
三、檢査を受くべき物件 証書、消費貸借に關する証書、約束手形、爲替手形、物品切手、委任狀、營業に關する受取書等、帳簿、判取帳通帳(日掛家賃等の通帳を含む)

矢野恒太 大内民惠著

教育制度改革概論

(四六版二一頁 定價五十錢 郵税六錢)

よつて、第二世第三世の將來も、將た日米國交の前途にも、一大光明を仰ぎ得る事に、なるのではないかと

認められてゐるので、尙其翁頌徳記念館前に集合、大バス四台に分乗して、會場

に到り、重要事項審議の後各自十二分の歡を盡して午

行き詰れる現代の教育制度を解體して、學理と實際と、歴史と實驗とから新に大内案九主義を提唱す。天下知名の士の賛同攻撃に違あらず。されど未だ一人の抗議者も現はれず。

我國教育學界の權威

前京大總長小西重直博士

書を寄せて曰く、多年ノ御禮談ト實地ノ御試練ニ基ク眞學國ノ大神ヲ拜味仕リ不感敬ニ打テ申儀云々。

發行所 日本評論社
東京橋本三丁目
取次所 内郷村報社

磐城炭礦從業員寄宿舎
大正十二年創立
七年會
福島縣石城郡内郷村字宮澤(常磐線)

磐城炭礦の應召者優遇

磐城炭礦では、今回の北支事變に當面して、充員召集を受けたる從業員並に其家族に對し、左記の待遇法を公示し、征くもの残るもの何れも意を安んじて、奉公の至誠を致さしむる方法をこつた。

- 一、餞別、礦業所、親和會及軍人分會より之を増與す
- 二、應召期間中は在籍のまま、勤績を繼續せしむ。
- 三、應召期間中其家族の生活状態に應じ、毎月十五日及月末の二回に分ち、家族手當を支給す。他町村に移住したる家族に對しては、公機關を経て、月一回之を支給す。
- 四、社宅は其借貸附す。家族に稼働者なき場合は、應召期間中、衛生費及電燈料を免除し、燃料を支給す。
- 五、其他應召者家族に就ては努めて親切に之を待遇す。右に關し不明の点あらば、勞務係並に各派出所に就き照會せらるべし。以上

磐炭分會行事

八月六日午前七時三十分より、内町第二小學校に於て

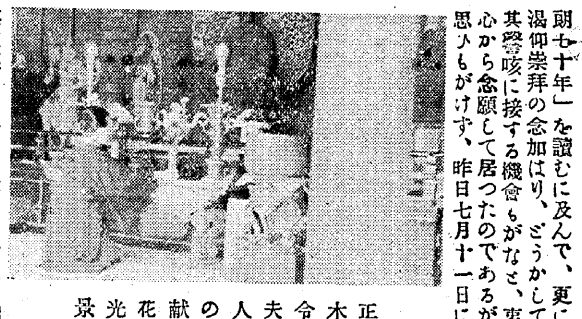
白水阿彌陀堂と正木先生

國寶阿彌陀堂 保存會顧問 大内民惠

余は余が親友移川浩哉博士や、小學同窓の長友荻生天泉諸伯等の恩師にして、我國藝術界並に教育會

の恩人であり、權威である、正木直彦先生の令名風格を、傳聞する事多年、最近又先生の高著「阿彌陀

部政吉、小坂新一、渡邊章助、三津岡太四六、鈴木孝松、本多敏道、小野今朝次郎、富永勉、村上明、松崎一、氏家正男、白川茂、澤田章、黒崎丑雄、二瓶正二、若林鐵之、小泉昇、神田幸輔、新屋富多、小出政雄、小林己之吉、土田長太郎、阿部喜作、高橋善代司、佐藤新、佐藤幸之助、三浦銀平、所武男、佐藤幸之助、宮川四郎、小笠原泰男、磯海美清、宮川四郎、鈴木留之助、野利光、安藤保吉、鈴木留之助、野寺間金治、佐々木菊市 以上



正木令夫人の献花光景

藝苑巡禮の一行を幸じて、我阿彌陀堂に詣せらる、と聞いて、感喜萬降を繰合せて、沼田村長草野五朗氏等と共に、纒驛頭に御一行を迎へたのであつた。

舞一行は、先生、同令夫人及柳柳完道、池田勇八、和田助一、北野博美、堀口蘇山の諸氏、それに福島より馳せ参じた堀江繁太郎氏で東運役は荻生天泉赤堀信平の兩氏であつた。一同車を連れて阿彌陀堂に到れば、別當赤土住職を始め關係者諸氏、何れも禮装して待つて居られた。

暫時休憩後、令夫人は、はる／＼東京より持参せられたる、黄菊白菊を一對の青竹の花筒に、見事にいけて献じ、畔柳氏は茶釜のさばきあざやかに、碾茶をたて、供へられ先生は、その守護佛を納め佛前に安置せられ、赤土師朗や殿かに警心經を誦讀せられたるが、念珠を手にする先生御夫妻も、亦之に唱和せらる。終つて一同代々の、焼香回向ありて、費巻をしたため、次いで先生は、立つて徐る



正木先生の講話光景

國寶阿彌陀堂内、香華のかほりゆかしき、五靈佛前に於ける、名たる先生の御講話は、聽衆一同の感激措く能はざるものであつた。かくて御一行は、平方面の巡禮へさ向はれた。七月十二日稿

開拓記録 (三)

北海道十勝國上川郡 清水町 清水山莊

大内 一 郎

各方面よりの懇望黙止し難く、再び之を掲載し始める事とした。但し其後の通信三十余通に及ぶを以て、最近のものより之を抄録することとした。(民選)

昨日由清の貯金帖と御手紙頂きました。十八日が二十一日であつたので、二青年の希望により、赤飯でなしにおはぎにいたしました。醫師産婆の薬價謝禮も全部さし上げました。相當かゝりませんが母子の命が助かつたのだから、お安いのと語りあひました。牛馬の種付けもいたし、雞も葉についたので卵をいたかせました。由清も目立つてそたち、日を逐つて可愛くなりませす。

四月二十一日 傍八時 きみ 拜復 今日由清送金有り難う御座いました。當方一同健在で、着々其後の耕作にいそしんで居ります。お父さんの御來莊までには、舊聖地を全部整理して終ひたいと思つて居ります。昨日本年度開墾地の火入れをいたしました。プラオで、三ヶ所に細かく區切つてやりましたので、文字由清を除く四人で、悠々計畫通り、綺麗に焼く事が出来ました。二十日に蕎麥九俵を四十一圓六錢で賣却いたしましたので、必需品を購入いたしました。

由清の御返しの品々、いろいろと御面倒で御座いました。又文字へ修養雜誌御送定御座附下され重れ、有り難う御座いました。お父さんの御來莊を、一同御首してお待ちして居ります。巻帳小母さんはじめ、金の皆様へも、よろしく申上げて下さい。

五月二十四日 一 郎

昨日御歸着の事と存じます。ごんなにか御勞れで御座いましたので、丁度お立ちになつた日、即ち五日の夜中十二時前に、赤間さんから、梅子が産氣附いたと起され二時頃二少年を市街の産婆に走らせ、明けて六日頗る難産なので、午後六時一帯を派して醫師を迎へ同十時にやう／＼引き出していただき、全部すんだのか十二時過ぎ丁度一晝夜を要したわけでした。醫師には山莊に宿つていただき、昨朝食後に歸つていただきました。男兒出生母子共に達者です。安んじ下さい。之で本年四人の生命を拾つたわけですから、天泉諸伯から昨日小包が届きました。まことに立派なものです。詳しくは一郎から申上げさせます。

六月八日 きみ 汽笛一響、清水驛御出立後、御無事に御歸定通り、昨夜御歸宅の御事と存じます。随分御疲れになられた事と察察いたします。御來莊中は、ほんたうにいろいろと有り難う御座いました。赤間家出産の模様は、母上よりの御報告で、御諒承の事と存じます。山莊總動員殊に母上一晝夜の御辛勞は並大抵ではありませんでした。然し無事相済み一同安心いたしました。

昨日漸く天泉諸伯より、待望の軸が届きました。箱書は、表面に「菅公幼時」裏面に、「年號月日、賀大内由清雅契誕生、天泉」ありました。給も、字も將表装も眞に御見事なもので御座います。諸伯の御厚誼を感謝すると共に、由清の教育上一大好資料と一同此

上もなく喜んで居ります。未聖地の焼跡に、ほつ／＼蔵が崩えりまわしたので、市街方面へ蔵狩りの招待状を出す事に、莊議一決定いたしました。

六月八日 一 郎 御無事御歸宅の御知らせいたゞき安心いたしました。舊の御節句なので、郡山の渡邊様からいたゞいた、三間の大織を、立木の梢にさげて、由清に見せました。大空にひるがへる有様を、私の脊中で喜び勇んで見て居ります。新の御節句の時とは、格段の相違です。御節句の時とは、あの人形のオシャブリを握つて、眼に持つていつたり、お話をしたりして、三十分後にも寝て遊ぶ様になり、一日は大人になるのが、目立つので、清水小学校に運動會があるので、留守居として私一人がのり、一同を見物にやりました。赤間へは毎日行つて、湯をつかはせてやつて居ります。

六月十一日 きみ 拜復、昨日御安着の御報頂戴いたしました。一同安心いたしました。御留守中も御無事何よりと御座いました。昨日道路際の新聖地プラオ完了いたしました。舊聖地の播種も済みました。昨日は快晴に恵まれ、お母さん御留守居に、我等一同運動會見物に行くので、昨日は又小生の誕生日なので、夕食には母上お料理の御馳走をこしらへていたゞき、除草さういふ段取りにきめさせました。

六月二十四日 一 郎 平のサロンで晩餐をいたゞいた村報編輯で、一しきり御忙しい事と存じます。赤間君母子其後順調。母が毎日午前中お湯つかせに參つて居ります。ほんたうによい鹽梅です。岡村の叔父さんから節句人形辨慶、武藤大叔さんから鐘鬼の軸物、よし子様からお祝等々いたゞきました。上田君の履歴書を製糖の那須さんに差上げてお願いたしました。

六月二十四日 一 郎 ひさり君慰安會は(某々兩氏から)の發着は射す一同元氣殊に由清の發育驚くばかりです。例の小茶園開墾も昨日を以て終了いたしました。来る二十六日が、赤間の坊々湯つかせに參らるるつもりです。當地もいよ／＼本格的暑さになりました。最近二回は雷雨あり、もつ／＼はじょう御座りましたが、今日より除草にさりがかりますが、又暑い事で御座います。今分では本年は豊作だらうと思はれます。あなたのお時下さつた南爪も芽を出し、大きくなりつゝあります。私が晴れものも皆芽を出しましたから、西爪も南爪も深山の花盛り楽しんで居ります。今春の花盛りです。先達敷葉をしてやりました。何れ買りましたら、僅かでも送りました。東京の弘喜殿から、多喜子が快方に趣き醫師の手をなされた事、今度はいよいよ家政婦を雇入れた事等の便りがありました。當方からは、炭及薄荷の苗さ、根をつけた鈴蘭と送つてやりました。御來莊の折、剪定していただいた樹木は何れもよく芽をふき、一本も枯れたものはありません。之は切らずに置かうさういはいれた一本の木は、箱までさうさう芽を出しました。由清が目を醒ましたから之で、お体を大切に。

六月二十四日 一 郎 本報發行は内一一家の事業にして、其の社務は子孫に對する遺言を執るものなり。

喜ぶもし、感謝もいたして居るのであります。今や世界の國際間に於ける、重要な各種問題は、我東洋に

問題であります。前にも一寸申上げましたが、我同胞中皆様のお國にあがつて、お世話になつて居る

ざる國に於ては、在留同胞によつて、純日本教育が施されてあるといふ状態があるのであります。而して前

内郷村報の

六大使命

- 一、政黨政治を超越して、純實主義を標榜す。
- 二、村内公私各機關の活動状況を報導し併せて其協力を計り、總現和進努力の實現を期す。
- 三、本村社會事業の徹底を期す。
- 四、村内の善事執行を奨励し、且之を獎勵す。
- 五、本村と本村出身者及本村關係者との聯絡を計り、且其發展向上を期す。
- 六、貧餘力を以て國民進歩に當る。

天法 順ナ

喜ぶもし、感謝もいたして居るのであります。今や世界の國際間に於ける、重要な各種問題は、我東洋に

問題であります。前にも一寸申上げましたが、我同胞中皆様のお國にあがつて、お世話になつて居る

ざる國に於ては、在留同胞によつて、純日本教育が施されてあるといふ状態があるのであります。而して前

本報發行は内一一家の事業にして、其の社務は子孫に對する遺言を執るものなり。

本報發行は内一一家の事業にして、其の社務は子孫に對する遺言を執るものなり。